

昭和四十四年一月招集

千葉県館山市議会会議録

館山市議会



第一回館山市議会議臨時會會議錄（第一号）

第一回館山市議會臨時會會議錄（第一号）

昭和四十四年一月招集

一、一月二十三日（木曜日）

一、現在議員二十九名でその氏名次のとおり

- |            |            |
|------------|------------|
| 一番 吉田 勇治郎  | 二番 石井 輝久   |
| 三番 嶋田 石藏   | 四番 伊賀 多朗   |
| 五番 藤田 益治   | 六番 磯辺 博    |
| 七番 白熊 盛太郎  | 八番 黒川 正    |
| 九番 三幣 勇    | 一〇番 西村 真次  |
| 一番 菊井 敏博   | 一二番 小柴 孝   |
| 一三番 山田 教宇  | 一四番 遠山 ヨネ子 |
| 一五番 石井 正   | 一六番 五十嵐 昇  |
| 一七番 江田 徳太郎 | 一八番 安西 益男  |
| 一九番 島野 茂樹郎 | 二〇番 中村 省吾  |
| 二二番 小沢 恵太郎 | 二三番 飯田 義男  |
| 二四番 田中 禄郎  | 二五番 田村 源治郎 |
| 二六番 秋山 六三郎 | 二七番 安沢 徳順  |



二八番 望月 照正

二九番 鈴木 市藏

三〇番 山口 康

## 一、議事日程（第一号）

第一、議案第一号 千葉県下市町村の軽自動車税の賦課徴収に関する事務を行なり職員の共同設置規約を廃止する規約の制定について

第二、議案第二号 昭和四十三年度館山市一般会計補正予算（第五号）

第三、館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員補欠選挙について

## 一、法第二百二十一条による出席説明員

市	長	本	間	護
助	役	畠	山	伝
収入	役	高	木	哲三
秘書課	長	小	倉	澄男
庶務課	長	山	口	実
財政課	長	長	谷川	広治
市民課	長	羽	山	房雄
農林水産課	長	伊	藤	幸太郎
教育	長	高	木	正
教委庶務課	長	干	場	伊右エ門
教委学校教育課	長	遠	藤	一郎



一、本議会の事務局長、局長補佐、書記及び職員

事務局長 高 梨 清 一

事務局長補佐 高 尾 豊

書記 兵 藤 恭 一

同 波 辺 弘

同 庄 司 徹

同 錦 織 睦 子

職員 島 田 守

一、出席議員 二十七名

一、欠席議員 二名

午前十時十分 開 議

○議長（吉田勇治郎君）本日の出席議員数 二十六名

これより昭和四十四年度第一回市議会臨時会を開会いたします。

本臨時会の議案審議のため地方自治法第二百一条の規定による出席要求に対し、本間市長、畠山助役、高木収入役、小倉課長、山口課長、長谷川課長、羽山課長、伊藤課長、高木教育長、干場課長、遠藤課長以上の者が出席する旨の報告がありました。

議案を配付いたせました。

議案の配付漏れはありませんか。―配付漏れなしと認めます。

会議録署名員の決定を行ないます。



本臨時会の会議録署名員に一四番議員遠山ヨネ子君、一六番議員五十嵐昇君、以上両君を指名いたします。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって決しました。会期の決定を行ないます。

本臨時会の会期につき議会運営協議会の意見は本一月二十三日より一月二十五日までの三日間ということであり、おはかりいたします。

会期を三日間と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。

よって会期は一月二十三日より一月二十五日までの三日間と決定いたしました。

この際御報告申し上げます。

本市議会議員関武夫君には、昨年八月四日以来、千葉大学病院において闘病生活を送られておりましたが、ついに十二月三十一日午後四時二十分逝去されました。

ここに慎しんで哀悼の誠を捧げ、御報告申し上げます。このことについて議員団幹事長西村真次君より発言を求められております。

暫時これを許します。西村真次君御登壇願います。

(一〇番議員登壇)

○一〇番(西村真次君) 私たち議会議員として同僚でありました関武夫君の御逝去に際しまして慎しんで哀悼の意を表します。



願ひますれば氏は昭和二十六年知識経験選出の監査委員を振り出しに昭和三十八年四月衆望をになわれ、館山市議会議員となり各種委員並びに文教民生委員長、総務委員長等の要職を歴任され、ますます議員としての円熟味を加え全力を市勢発展のために捧げられ、その抱負経綸は、まことに速大なものでありました。

関君は資性温厚にして謹直かつ情誼に厚く私たち、同僚の者は申すまでもなく、常に多くの人々から敬慕せられて参ったのであります。

他面、ことに当たっては、極めて厳正で率先陣頭に立って難局に対処し、全力を傾倒して職に殉じられたのであります。

君のいまひとたびの再起を心から祈念いたしましたのでありますが、御家族の手厚い看護と私たちの切なる願ひもむなしに遂に永眠なされました。この悲しみは、筆舌につくしがたく、人の世の定めとは申しながら、その逝去のあまりにも早かったことに驚愕痛惜言葉もございません。

しかしながら、ひるがえって思えば、関君にはさぞ、生きがいある人生を送られたものであるということが言えることでありましょう。私たち残された者といたしましては、かけがえのない大事な人材を失ない、ただ、あ然としておるのみであります。

いよいよ議会活動も軌道に乗り、特に近年休養観光都市としてその躍進が期待され、君の卓越した識見にまつべきものがあるとき惜みてもあまりあるものと言わなければなりません。常日頃君の登庁されたあの元氣な姿も今はなく君の識席である二一番は空席となってしまったのであります。

今、君の議席に花束を捧げ館山市議会を代表してここに関武夫君の生前の功績をたたえその風格をしのび心から御冥福をお祈りいたしました追悼の言葉といたします。

○議長（吉田勇治郎君）以上で西村幹事長による追悼の言葉を終ります。



この際、故関武夫君の靈に慎しんで黙禱を捧げたいと思います。  
御起立願います。

黙禱始め。

(起立黙禱)

○議長(吉田勇治郎君) 黙禱を終わります。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。  
これより本臨時会の案件につき市長の説明を求めます。

(市長 登壇)

○市長(本間譲君) ごあいさつ申し上げます。

昭和四十四年の輝かしい新春を迎え、市会議員の皆さまとともにここに慎しんで市民各位の御清福と館山市勢の発展を心から願いました次第でございます。

さて、本日、臨時市議会を招集いたしましたして御審議わづらわします付議事件は、一般議案といたしまして千葉県下市町村の軽自動車税の賦課徴収に関する事務を行なう職員の共同設置規約を廃止する規約の制定であります。これは、過般御説明申し上げましたように従前千葉市、並びに船橋市の二カ所において、軽自動車税の賦課徴収に関する事務を共同処理してきたのでありますが、今日の車両需要の激増によりますところの事務量、事務費の増加に伴ってこれら、業務を千葉県町村会に委託し、負担軽減の軽減と事務の適正を期するために従前あった本規約を本年三月三十一日限りで廃止することになりましたので、法の規定するところにより県に届出の必要から廃止しようというものであります。なお、町村会との業務契約は本年四月から発足する運びと相なりますが、この事務手続を本年一月中に完了する必要があるわけでありす。



次に予算関係としまして、一般会計補正予算第五号の予算補正をお願いするわけでありますが、歳入歳出予算につきましては、明治百年事業といたしまして、豊房小学校、文庫設置に関する三十万円を計上いたしました。

この予算案で新たに債務負担行為の補正としまして安房中央土地改良区が農林漁業金融公庫から借り入れする丸山ダム、かんがい排水事業を三千七百九十四万円及び潮止堰かんがい排水資金二百四十万円にかかる損失補償をお願いしようというものであります。

その他この会期に欠員を生じました館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議員一名についての選挙をお願いしたく存じますが、本議会に上程いたします各議案はいずれも急施を要するものでありますので、詳細につきましては、各関係課長等を出席させてありますので慎重に御審議をたまわりますようお願い申し上げます。以上申し上げます。以上上げましてごあいさつにかえる次第でございます。

○議長（吉田勇治郎君）

日程第一、議案第一号を議題といたします。

（書記朗読）

議案第一号 千葉県下市町村の軽自動車税の賦課徴収に関する事務を行なり職員の共同設置規約を廃止する規約の制定について

○市民課長（羽山房雄君） 議案第一号について御説明いたします。

千葉県下の市町村は軽自動車税の賦課徴収につきまして昭和三十三年四月一日から規約を設けまして軽自動車税に関する事務の一部を補助させるために共同して職員を設置しまして、現在千葉市と船橋市にございます。千葉県陸運事務所の構内において執務しておりますが、運営費総額を関係市町村で負担金によって支弁して参りました。ところでこの共同設置規約は法的な裏づけも乏しく各県の取り扱いの状況を比較してみますと大半が団体に



委託しておりまして近年の車両の増加に伴います事務量の増高とか、あるいは派遣の職員の増員の確保のために非常に人選難で苦慮しております。

人事交流のむずかしさ等が一つの理由にもなりますが、いろいろの問題をかかえまして、この主事の選任の権限を持ちます千葉市長から、千葉市は、この問題について県等に御相談がありまして昨年十月開催の県下の市長会並びに町村会の評議委員会にはかりまして、その承認を得まして、この団体に委託することに踏み切ったわけでございます。

今回、県の地方課の指導のもとにこの事務の委託を受ける団体であります千葉県市町村会と各市町村長との間に契約の締結を一月中に終るよういたしまして、来たる昭和四十四年度から団体委託で事務処理を行なうことになりました。共同設置規約は従いまして昭和四十三年度限りで廃止いたしましたして市町村事務の合理化と経費の軽減をしようというものであります。

経費の点で参考までに申し上げますと、本市の場合、これに要する負担金が四十三年度の当初におきまして三万七千三百三十二円さらに年度途中におきまして船橋市に陸運の習志野支所が設置されましたして一万三千四十九円、合計五万三千八百一十一円の支出でありまして、明年度から町村会に委託いたしますと、三万九千五百五十五円を支出すればよろしいということになりましたして約三〇%の減額になります。よろしく御審議のほどをお願いいたします。

○議長（吉田勇治郎君）本案に対する質疑を求めます。

御質疑ございませんか。――御質疑なしと認めます。

おはかりいたします。

本案を討論省略採決するに御異議ございませんか。



（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。

おはかりいたします。

本案を原案通り可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって本案は原案通り可決されました。

日程第二、議案第二号を議題といたします。

（書記朗読）

議案第二号 昭和四十三年度館山市一般会計補正予算（第五号）

○財政課長（長谷川広治君）議案二号の一般会計補正予算第五号について御説明を申し上げます。

今回の補正予算におきまして歳入歳出予算におきましては、三十万円を歳入に追加計上いたしまして、歳出に同額を計上いたしまして、歳入歳出それぞれ合計金額十一億二千百十五万三千円といたしたい予定でございます。

三十万円の収入につきましては豊房小学校におきます明治百年記念本間文庫設置のための寄付金として寄付の申し出がありましたので、それを特定財源として受け入れ、歳出に教育費中三十万円を追加いたす予定であります。

第二は、債務負担行為の補正といたしまして丸山ダム及び平久里川の潮止工事に対します。安房中央土地改良区の借り入れに対する損失補償二件が今回新たに追加をいたす予定であります。詳細につきましては教育委員会及び農林水産課長よりそれぞれ御説明を申し上げますのでよろしく御了承をお願いいたします。

○教育委員会庶務課長（干場伊右門君）私の方から寄付金並びにその小学校費の教育振興費について御説明申し上げます。



今回市長個人といたしまして明治百年記念の本閣文庫設置のために三十万円の御寄付をいただいたのでありますが、この文庫を豊房小学校内に設置するものでございましてその書棚の購入費としまして四万三千円それから図書購入費といたしまして二十五万七千円合計三十万円の十八節の備品購入費にお願いした次第でございます。よろしくお願いいたします。

○農林水産課長（伊藤幸太郎君） 債務負担行為の補正につきまして申し上げます。

今回安房中央土地改良区が農林漁業金融公庫から丸山ダムの建設資金といたしまして三千七百九十四万三千円を借り入れることに相なったのでありますが、それに対します損失あるいはさらに平久里川の潮止め工事の分といたしまして二百四十万円を同公庫から借り入れたことになりましたので、それに伴いますところの損失補償の御同意をいただきたいという件でございます。

まず丸山ダムにつきまして簡単に申し上げますと、今年度の工事の事業費全額が四十三年度におきまして一億八千九百七十万ということに決定されたわけでございます。

それに対しまして、今回規定によりましてその二五％に当りますところの四千七百四十二万五千円を県に土地改良区が納入するわけでございます。地元負担金として納めるわけでございますが、そのうちの八〇％に当りますところのただいま申し上げました三千七百九十四万円を公庫から借り入れまして負担金として県に納入するといふことでございます。

借り入れの条件、それから限度額、その他の内容につきましては、ここに書いてございますとおりでございますので御了承をお願いいたします。

それから潮止工事でございますけれども、本年度の総事業費が二千万円ということに決定されまして、先ほど申し上げましたような率によりまして公庫から土地改良区が特に二百四十万円を借り入れすべくこの損失補償の議



決をお願いいたしたいと思う次第でございます。

以上でございます。

○財政課長（長谷川広治君）以上で予算の説明を終りたいと思いますが、大へん申しわけないことでございますが、数字の印刷の誤まりがございますので、御訂正をいただきたいと思ひます。

最初から三枚目の小学校費のトータルの欄でございますが、四千五百二十九万七千円ということになっておりますが、四千二百五十九万七千円ということになりますので、それから最後の二枚目の後側でございますが、歳出の欄の教育振興費の計が四五二九七ということになっておりますが、四二、五九七ということになりますので御訂正をいただきたいと思ひます。

○議長（吉田勇治郎君）本案についての御質疑を求めます。

御質疑ございませんか。――御質疑なしと認めます。

おはかりいたします。

本案を討論省略採決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。

おはかりいたします。

本案を原案通り可決するに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって本案は原案通り可決されました。

暫時休憩いたします。



午前十時三十七分

休憩

午前十一時

再開

○議長（吉田勇治郎君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第三 館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員補欠選挙についてを議題といたします。

館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の補欠議員の選挙を行います。

本補欠選挙は関武夫君が去る十二月三十一日死去されたので、同組合規約第七条第二項の規定により実施するものであります。

おはかりいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第百十八条第二項の規定による指名推選によりたいと思ひます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって選挙の方法は指名推選によることに決しました。

おはかりいたします。

指名の方法は議長において指名することにいたしたいと思ひます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君）御異議なしと認めます。よって議長において指名することに決定いたしました。

伝染病隔離病舎組合議会議員に遠山ヨネ子君を指名いたします。



おはかりいたします。

ただいま議長において指名いたしました遠山ヨネ子君を館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の当選人と定めますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よって指名のとおり遠山ヨネ子君が当選されました。

ただいま当選されました遠山ヨネ子君が議場におられますので本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

暫時休憩いたします。

午前十一時 五分

休 憩

午後 二時五十三分

再 開

○副議長(西村真次君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長、吉田勇治郎君から議長の辞職届が提出されております。

おはかりいたします。

この際、議長辞職の件を日程に追加し、議題とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副議長(西村真次君) 御異議なしと認めます。よってこの際議長辞職の件を日程に追加し議題といたします。

まず、辞職届を朗読いたします。



○事務局長（高梨清一君）朗読いたします。

辞職届館山市議会議長吉田勇治郎 私儀 今般一身上の都合により市議会議長の職を辞職いたしたくお届けいたします。昭和年月日 右 吉田勇治郎

館山市議会副議長 西村真次殿

○副議長（西村真次君）おはかりいたします。

吉田勇治郎君の議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○副議長（西村真次君）賛成多数により御異議なしと認めます。よって、吉田勇治郎君の議長の辞職を許可することに決しました。

暫時休憩いたします。

午後二時五十分

休憩

午後三時十五分

再開

○副議長（西村真次君）休憩前に引き続き会議を開きます。

吉田勇治郎君より発言を求められておりますので暫時これを許します 吉田勇治郎君

（一番議員 登壇）

○一番（吉田勇治郎君）議長を去るに当りまして一言ごあいさつさせていただきます。

昭和四十二年五月皆さまの絶大なる御推挙によりまして当市議会議長に就任させていただいたものでございます



が、年半有余至らぬ私でございますが、皆さま方の好意あふれる御支援によりまして本日まで私のモットーとする議会のスムーズな運営、市勢の伸展のために御協力をいただきまして市勢も着々とその実を上げつつありますことは皆さまの強いおかげと私深く感謝申し上げる次第でございます。

しかしながら私も今回不徳のいたすところによりまして皆さまの強い御期待にもそうこと相ならず、ここに任半ばにして議長職を去るということに相なつたわけでございますが、今後は、皆さま方の厚い年半有余の御厚情御有情を一市議會議員として議会のスムーズな運営、市勢伸展のためにいや、市民の希求のためによりいっその努力をいたす覚悟でございます。ただすべきは、ただし、大いにその気概を今後ともモットーといたしまして市勢の伸展に寄与したいと考えておりますので、なにとぞよろしく願ひする次第でございます。一応皆さま方の御好意に対しまして感謝申し上げますとともにますます館山市勢の伸展とスムーズな館山市議会の運営を祈念いたしまして私の議長を去るに当たつての挨拶にかえさしていただきます。

いろいろとありがとうございます。(拍手)

○副議長(西村真次君) 以上をもって吉田勇治郎君の發言を終ります。  
暫時休憩いたします。

午後三時	十八分	休
午後四時三十五分		再 開

○副議長(西村真次君) 休憩前に引き続き會議を開きます。

本日の會議はこれにて散会といたします。



次会は明後一月二十五日午前十時開会いたします。  
その議事は本日に引き続き議長の選挙について行ないます。

午後四時三十六分

散 会

本日の会議に付した事件

一、議案第一号、第二号

一、館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員補欠選挙について

一、議長の辞職の件について

出席議員

吉	嶋	藤	白	三	小	速	五十	島
田	田	田	熊	幣	柴	山	嵐	野
勇	石	益	盛			ヨ		茂
治	蔵	治	太	勇	孝	ネ	昇	樹
郎			郎			子		郎
石	伊	磯	黒	西	山	石	安	中
井	賀	辺	川	村	田	井	西	村
輝	多			真	教		益	省
久	朗	博	正	次	宇	正	男	吾

欠席議員

菊	山	望	秋	田	小
井	口	月	山	中	沢
敏		照	六	禄	恵
博	康	正	三	郎	太郎

江	鈴	安	田	飯
田	木	沢	村	田
徳	市	徳	源	義
太郎	蔵	順	治	男



